

# 日本仏教の流れから学ぶ

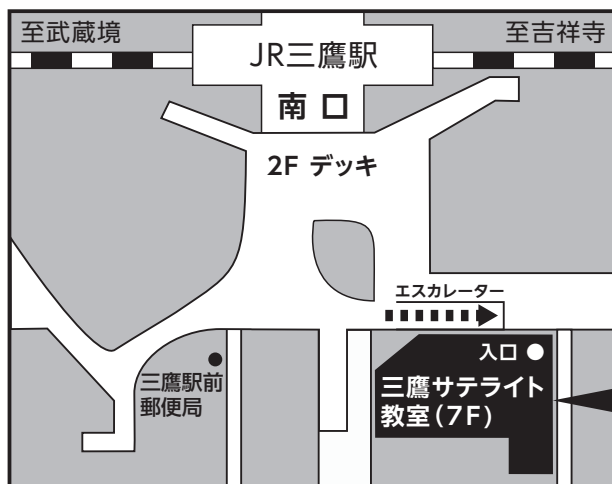
## — 仏教伝来以前 —

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	—————				
講座概要	曜日	水曜日		日程	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	福泉寺住職・本願寺派布教師 <b>小笠原 博慧</b> (おがさわら ひろとし)				
	1941年生まれ。1965年、私立高校教諭(漢文)。1974年、公立高校教諭(国語)。1994年、武蔵野女子学院高校教頭。1999年、同中学・高校校長。その間1975年、國學院大學講師(漢文学)。1982年、市立大月短期大学講師(文学、日本語)。1988年、武蔵野女子大学講師(仏教学、日本仏教史)。同大学仏教文化研究所所員。1988年、福泉寺住職。				
内容	<p>日本における信仰の始まりは、縄文時代にさかのぼる。約一万年前から九千年前といえる。縄文人は厳しい自然のなかに知恵を蓄え、自然に依存しながら集団生活を維持したと考えられる。生活技術の開発と共に、信仰生活では精霊などの呪力を信じ、災いを防ぎ幸いをもたらすことを期待して呪術が重視された。</p> <p>呪術は呪物を必要とした。土偶などである。こういったアニミズムの信仰について探る。これが弥生時代へ継続していることも含めて、信仰の原点をみていく。</p> <p>また、神の観念にも諸類型がみられ、“神”の受けとめ方によって明確に類別される。祭政一致の必然的な成り立ちと生活のあらゆる側面に神の観念が浸透し、それによって規制されていた面も多々あったことなどもみる。</p> <p>呪術と王権とのかわりも根本的なものとしてある。王たる者の起源は呪術者であろうというフレイザー（イギリスの人類学者）の説がある。呪術的・超自然的な力をもつ王は、自然の運行を調節し、農耕・牧畜を豊かにし、悪疫を退散させ、戦争を勝利に導かねばならなかった。しかし、呪術が宗教に代われ、人々はカミに訴えて目的を達しようと祭司がなすべき機能となった。シャーマンの王は祭司主あるいは神聖王へと変わっていった。記紀神話での日本の古代王権の成立過程にも同様にみられることを探りたい。</p>				



内 容	①7月10日:古代の神観念 ②7月24日:神話にみる世界 ③8月28日:]呪術と王権の成立 ④9月11日:] ⑤9月25日:天皇に関わる諸要件
-----	---

## 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
 東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
 三鷹三菱ビル

**JR中央線・総武線**  
**東京メトロ東西線**  
**JR 三鷹駅 南口より徒歩1分**  
**三鷹三菱ビル 7F**  
**(三菱UFJ銀行のビル)**  
**1F入口からお入りください**

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。